

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境								3.2
1 音環境		3.0	0.15					3.0
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		4.2	0.40					
1 開口部遮音性能	T-2以上	5.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		2.7	0.35					2.7
2.1 室温制御		2.5	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能	窓システムSC:0.503程度、U=2.67 外壁その他:U=0.817、0.587	4.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38					
2.2 湿度制御		3.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.2	0.25					3.2
3.1 昼光利用		2.8	0.30					
1 昼光率		2.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備	風光ガイド	4.0	0.40					
3.2 グレア対策		2.0	0.30					
1 昼光制御		2.0	1.00					
3.3 照度	全般照明方式:水平面照度700lx	4.0	0.15					
3.4 照明制御	1作業単位で照明制御及びびりコン制御可能	5.0	0.25					
4 空気質環境		4.0	0.25					4.0
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材を全面的に使用	4.0	1.00					
4.2 換気		3.3	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上	4.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		5.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		-						
2 喫煙の制御	全館禁煙にて喫煙所は建物内部に設置しない	5.0	1.00					
Q2 サービス性能			0.30					3.3
1 機能性		3.5	0.40					3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性	執務スペースは12㎡/人以上確保	5.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33					
3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		4.3	0.30					
1 広さ感・景観	天井高2.7m、窓を設置	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上	4.0	0.33					
3 内装計画	建物全体のコンセプトや機能が明確であり、事前に検証を行っている	5.0	0.33					
1.3 維持管理		3.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	便所の壁・床に防汚性建材を採用、風除室扉は十分な隔離確保等	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニル床タイル30年、塗装15年、化粧ボード30年	4.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:SUS(C)、汚水排水/雑排水:VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			2.8	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高3.8m以上	4.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.17	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラックを採用し、保護配管による配線としている	5.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラックを採用し、保護配管による配線としている	5.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.820	4.0	0.20		-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI _m 非住宅 0.71	4.0	0.50		-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI _m =0.710、LED照明設備を採用	4.0	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)						-	
4 効率的運用			2.0	0.20		-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	自動混合水栓に加えて省水型便器を採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60		-	3.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床:ビニル系床材、床:磁器質タイル、デッキ材	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装が乾式工法で分別容易	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品を採用	4.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=79%	3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」チェックリストの過半を満たしている、広告物照明がない	5.0	0.70		-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	